

栗原地域だより

第 25 号

平成 28 年 5 月 2 日発行

目 次

○栗駒山の夏山シーズン到来！	p1
○田園風景を走る「レールバイク乗車会」開催中！	p2
○人材育成を通じた企業支援の取り組みについて	p3
○第 11 回全国和牛能力共進会宮城大会肉牛の部出品候補牛の引き渡し	p3
○冬の渡り鳥シーズン、終了！	p4
○みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期（築館工区）事業の進捗状況	p5
○栗駒ダムに係る農林水産部と土木部との共同管理について	p6
○農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています	p7



栗駒山の夏山シーズン到来！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗駒国定公園にある「栗駒山」は標高 1,626 メートルで、山頂からは月山、鳥海山、蔵王連峰、秋田駒ヶ岳、早池峰山、そして、太平洋が一望出来ます。山頂付近には 150 種におよぶ高山植物が群生し、山肌にはブナの原生林、湿原、渓谷、滝、湧き水など貴重な自然が手付かずのまま残され、野鳥や獣など数多くの生き物が生息しています。



栗駒山の残雪を登る登山者

「栗駒山」の中央コース・東栗駒コースの登山口である「いわかがみ平」では、毎年5月第3日曜日に、登山者や観光客の安全を祈願する夏山開きの神事を行っています。今年は5月15日（日）に夏山開きを行い、本格的な夏山シーズンを迎えます。

5月は山麓の新緑や山頂付近の残雪、6月から7月にかけてはかれんな高山植物が楽しめます。爽やかな山頂の風を感じながら、雄大な自然を満喫してみませんか。

■お問い合わせ 地方振興部 商工・振興班 Tel：0228-22-2195

田園風景を走る「レールバイク乗車会」開催中！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

平成19年に廃線となったくりはら田園鉄道(通称「くりでん」)で、「レールバイク」の乗車会が始まりました。今年で3年目を迎える人気のイベントです。

「レールバイク」は、線路の上を自転車感覚で走行できる、4人乗りで2人漕ぎの乗り物です。のどかな田園風景が続く沿線を、爽やかな風を感じながらお楽しみいただけます。

走行距離は、気軽に体験できる300mとたっぷり楽しめる900mがあります。

「レールバイク乗車会」は4月から10月まで開催され、今年は4月24日(日)からスタートしました。毎回、栗原市のマスコットキャラクター「ねじりほんによ」がやってくる会場を盛り上げます。

また、6月から11月までの第2日曜日には、くりでんの歴史を後世に伝えていこうという趣旨から、営業当時のディーゼル気動車に乗車できる「くりでん乗車会」も開催されます。

ぜひご家族皆様でお越しください。

【レールバイク乗車会】

開催日：4/24、5/4、5/15、5/22、6/5、6/26、7/3、7/17、7/24、8/7、8/21、8/28、9/18、9/25、10/16、10/23 ※いずれも日曜日

※走行距離300m：5/4、8/7、10/23【先着順】(くりでん乗車会も同時開催)

他は900mとなります。【予約可】

※予約お問い合わせは、栗原市企画課 TEL 0228-22-1125 まで。

会場：旧くりはら田園鉄道若柳駅(宮城県栗原市若柳字川北塚ノ根17-24)

料金：無料



田園風景を走るレールバイク

■お問い合わせ 地方振興部 商工・振興班 Tel：0228-22-2195

人材育成を通じた企業支援の取り組みについて

～新入社員研修を開催しました～

北部地方振興事務所栗原地域事務所

今年4月に管内企業に入社した新入社員等の方々を対象として、平成28年4月7日にエポカ21を会場に新入社員研修を開催しました。

研修は、栗原市企業連絡協議会との共催により開催し、管内企業6社から22名の参加があり、経営コンサルティング波多野事務所代表の波多野卓司氏が講義を行いました。

波多野氏からは、「コミュニケーションの基本は、相手に訊き、そして相手の話を全身で熱心に聴き、相手に認知の言葉を返すこと」、「人は全身で自分の話を聞いてくれる相手のことを嫌いになりようがない」など、コミュニケーションのエッセンスとも言えるような話が多数あり、その後のワークショップでは、参加者同士で「訊く・聴く・認知」の実践が行われました。



講師を囲んでの記念写真

参加者のアンケート結果では、全ての参加者から「非常に良かった」または「良かった」との回答をいただくとともに、

「他の人とコミュニケーションがとれて自信を持つことができた」や「仕事だけでなく日常から大事な内容だった」といった感想が多く寄せられました。

当事務所では、今後とも人材育成を通じた企業支援の取組を推進します。

■お問い合わせ 地方振興部 商工・振興班 Tel: 0228-22-2195

第11回全国和牛能力共進会宮城大会肉牛の部出品候補牛の引き渡し

北部地方事務所栗原地域事務所

第11回全国和牛能力共進会宮城大会肉牛の部出品候補牛70頭(約7ヶ月齢)の引き渡しが、平成28年4月11日(月)に美里町のみやぎ総合家畜市場において開催され、全共宮城大会肉牛の部への出品に取り組む肥育農家18名を含め、県、市町村及び畜産関係機関等の約150名の方々に参加しました。今回、引き渡しが行われた70頭の子牛は、宮城県基幹種雄牛「好平茂(よしひらしげ)」、「勝洋(かつひろ)」及び「忠勝美(ただかつみ)」と、現在、産肉能力調査を実施している「好福久(よしひくひさ)」を、県内の繁殖農家が飼養している高い能力を備えた繁殖雌牛335頭へ計画的に交配して、生産された196頭の子牛の中から選抜された雄子牛です。

70頭の雄子牛は、18戸の肥育農家に引き渡され、栗原管内には、2戸の肥育農家に8頭の出品候補牛が引き渡されました。これら70頭の雄子牛は、今後、17ヶ月の間、丹精を込めて育てられた後、平成29年9月の全共宮城大会肉牛の部で宮城県代表として8頭が選ばれ、大会で「日本一獲得」を目指します。



引き渡しの開会式の様子



候補牛の審査風景

■お問い合わせ 畜産振興部 畜産振興班 Tel: 0228-22-2487

冬の渡り鳥シーズン、終了！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

昨年9月19日、伊豆沼にマガンが14羽飛来して始まった冬の渡り鳥（冬鳥）シーズンですが、今年2月上旬から北帰行が始まり、心配されていた高病原性鳥インフルエンザの発生もなく、冬鳥のシーズンが終了しました。いつの間にか伊豆沼・内沼もすっかり静かになり、4月13日現在、マガンの群れは北海道の石狩平野まで移動しています。



次のシーズンまでしばしのお別れです
(北帰行中のマガンの群れ)

県で実施しているガンカモ類生息調査は、3月10日に平成27年度最後となる3回目の調査を行いました。今シーズンは冬鳥たちも暖冬の影響を受け、飛来数が少なかったり1月に秋田県に移動したものがまた戻ってきたりするなど例年にならぬ動きを見せましたが、最終的には順調に北帰行が進みました。

冬鳥の代表的なねぐらである伊豆沼・内沼は、これから夏に向けて昆虫類やハスなどが主役となり、冬とは全く違った姿になります。こうして秋には栗原市の冬の風物詩であるガンやハクチョウたちが、幼鳥を連れて再び元気な姿を見せてくれることでしょう。

■お問い合わせ 林業振興部 森林管理班 Tel: 0228-22-2133

みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期（築館工区）事業の進捗状況

北部土木事務所栗原地域事務所

「みやぎ県北高速幹線道路」は、県北地域の東西を結び広域的な連携を強化するとともに被災地の復興支援や災害時の支援物資輸送などを担う、「復興支援道路」として整備を進めている道路です。

当事務所では、国道4号築館バイパスと供用済のⅠ期区間を結ぶⅣ期区間 1.7km について、平成30年度の供用に向けて整備を進めています。

本工区は、昨年度までに用地買収がほぼ完了し、約66,000㎡の盛土及び5基の函渠工が完了するなど、工事について事業費ベースで32.7%の進捗率となっています。

今年度は、新たに橋梁下部工、橋梁上部工、函渠工及び地盤改良工事などを実施する予定です。

また、地域住民の皆様へ本事業に関する最新の情報をお伝えするため「みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期（築館工区）事業レポート」を定期的に発行しております。詳しくは当事務所ホームページをご覧ください。

事業の推進、早期供用には地域の皆様のご協力が不可欠です。今後とも、一層のご理解とご協力をお願いします。



道路位置図



盛土工事の状況

当事務所ホームページは
下記の検索でアクセスできます。

北部土木栗原

検索



函渠の設置状況①



函渠の設置状況②

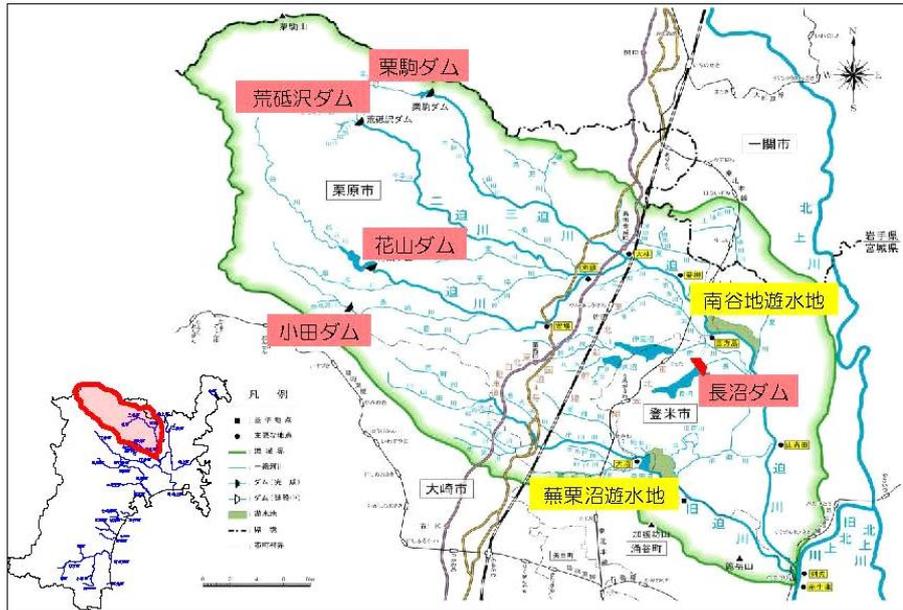


橋梁下部工の施工状況

■お問い合わせ 道路建設班 Tel : 0228-22-2189

栗駒ダムに係る農林水産部と土木部との共同管理について

北部地方振興事務所栗原地域事務所



迫川流域におけるダム等の施設設置状況

栗駒ダムは、農地防災（洪水防止）とかんがい用水の安定供給等を目的に県営土地改良事業で建設し、昭和 37 年 3 月に完成しました。これまで県管理のダムで唯一農林水産部が管理してきましたが、迫川流域全体の水系管理を一元化することで、「河川防災体制の強化」、「湧水時の利水調整の強化」、集約化による「効率的な維持管理」や「ダム管理技術者の専門性の強化」などを図るため、平成 28 年 4 月 1 日から県土木部との共同管理へ移行しました。

それに伴い、ダムの日常管理は県土木部所管の栗原地方ダム総合事務所（栗原市花山）が担い、ダムに係る修繕事業は北部地方振興事務所栗原地域事務所農業農村整備部が担当します。

栗駒ダムの運営につきましては、引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

【平成 28 年 4 月 1 日からの連絡先】

○ダムの日常管理業務

栗原地方ダム総合事務所（〒987-2511 栗原市花山本沢向原 11）

電話番号（代表）：0228-56-2233

○ダムの修繕業務

北部地方振興事務所栗原地域事務所農業農村整備部（〒987-2251 栗原市築館藤木 5-1）

電話番号（代表）：0228-22-2111

■お問い合わせ 農業農村整備部 管理調整班 Tel：0228-22-2398

農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています

(平成 28 年 2 月 22 日～4 月 15 日)

北部地方振興事務所栗原地域事務所

2 月 22 日から 4 月 15 日までの間に農林産物 31 点を簡易検査し、すべてが食品の基準値（100 ベクレル/kg）以下で、基準値の 2 分の 1（50 ベクレル/kg）を超え、精密検査が必要になる食品もありませんでした。

このように、市場に流通している農林産物は計画的に検査して安全性を確認しておりますので、安心してお召し上がりください。

農産物			林産物			
品名	施設	露地	品名	施設	露地	野生
青菜	—	◎	カンゾウ	—	—	◎
きくいも	—	◎	せり	—	—	◎
キャベツ(3点)	—	◎	ヨモギ	—	—	◎
茎ブロッコリー	—	◎	山にんじん	—	—	◎
こねぎ	—	◎	わらび	—	—	◎
ごぼう	—	◎				
こまつな	◎	—				
山東菜	—	◎				
じゃがいも	—	◎				
セロリ	◎	—				
だいこん(3点)	—	◎				
たいさい	◎	—				
たまねぎ	—	◎				
つぼみ菜(5点)	◎	◎				
ねぎ	—	◎				
ほうれんそう(2点)	◎	—				
ゆきな	—	◎				

◎：基準値以下 —：検査未実施

※放射性セシウム濃度基準値	
食品群	基準値(1kg あたり)
飲料水	10 ベクレル
乳児用食品	50 ベクレル
牛乳	50 ベクレル
一般食品	100 ベクレル

詳しくは厚生労働省 HP を
ご覧ください。

(http://www.mhlw.go.jp/shinsaai_jouhou/shokuhin.html)

■お問い合わせ 農業振興部 先進技術班 Tel：0228-22-9437（農産物）

林業振興部 林業振興班 Tel：0228-22-2381（林産物）

発行：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所（地方振興部）

〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木 5-1 Tel：0228-22-2195(直通) Fax：0228-22-6284

E-mail：nk-khsinbk@pref.miyagi.jp

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/9.html>

※次号（第 26 号）は 7 月 1 日発行予定です。



笑顔咲くたび
伊達な旅
仙台・宮城

Sendai & Miyagi, where smiles blossom